

決意新たに

◆新しく9名の仲間を迎え、全校児童生徒115名でモス日の2学期がスタートしました。始業式では、代表がそれぞれの現在の心境と2学期の決意を述べました。

◆「歓迎会」「2学期始業式」 8月27日(火)



小学部五年 栗田 ソフィア

私が2学期、がんばりたいことは、とくに二つあります。

一つ目は、なわとびの二重跳びを百回超えることです。一学期の初めは、二回しか跳べなかつたけれど、コツをつかんだら五十六回まで記録を伸ばすことができました。自分でもびっくりしました。

でもその後、なかなか記録を更新することができませんでした。百回をめざしても、とちゅうでひっかかって、あきらめてしまします。二学期は、毎日のなわとびリレーのときに、自分の記録を伸ばすことができるように気合いを入れていきたいです。

そして、二学期は私が楽しみにしている学習発表会があります。運動会のダンスでは、五年生は他の学年より人数が少ない分、ふりを大きく見せることをがんばりました。動きをそろえるために、朝と帰る前に、毎日練習しました。だんだんきれも良くなって、楽しい気分です。踊れるようになりました。そして、私は笑顔がほめられるようになって、うれしかったです。

学習発表会も、五年生みんな力を合わせてがんばりたいです。そして、自分たちもお客さんも楽しめる発表にしたいです。

中学部二年 富澤 夏穂

私は努力することの大切さを今以上に自分に言い聞かせようと思います。中学校生活の半分が終わるにあたり、一度今までのことを振り返ってみました。その時頭に浮かんだのが努力することの大切さを学んだことでした。小学校の時は何となくできたことでも、中学生では自分で努力しないと何もしないということに気付いたので、

具体例を挙げるなら、一学期の運動会です。私は応援団員として運動会に参加しました。応援団は努力に努力を重ねないと何もできませんでした。努力しているつもりでも、出来ていないことがたくさんありました。そのたびに逃げ出したくなつたけれど、あきらめずに努力した結果、最後には大きな達成感を味わうことができました。

努力することは簡単なことではありません。しかし、努力して損をすることはありません。必ず自分の大きな自信につながるはずです。だから、何をしても努力は必要なのです。

また、夏休みは自分なりに一学期に苦手教科の克服が出来なかったという反省を基に、ほぼ毎日数学と理科の勉強に取り組みました。その成果を出すのが、今学期だと思っています。

私は今学期、自分に努力することの大切さを言い聞かせ、今まで以上に、学習にも行事にも努力したいと思います。そして、充実した学校生活を送りたいです。

想像力を働かせて～日立ハイテクイベント～

- ◆8月30日(金)に日立ハイテクロシア様のご厚意で「日立ハイテクイベント」が開催されました。子どもたちの科学への興味関心を高め、「理科好き」を育てたいという思いに敬意を表するとともに、きめ細やかなご配慮にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。
- ◆最初に、8月22日から27日にかけてカザンで開催された第45回技能五輪国際大会の紹介をしていただきました。次代を担う青年技能者が技能レベルの一層の向上を目指して日々鍛錬に打ち込む姿に心動かされた様子でした。
- ◆後半は、日立ハイテク東京本社に設置された電子顕微鏡をインターネット経由でリモート操作してミクロの世界を覗く体験をさせていただきました。自身の感性を生かし「？」をもって物を見ることの大切さ、事実と事実を結び付けるには想像力を働かせる必要があることなどを、具体的に考える機会になりました。



歓声が広がります～水泳教室～

- ◆「進んで水に親しみ、体力と泳力を付ける」ことを目的に、小学部はオリンピック村プールで、中学部はソウニチプールで水泳教室(全4回)を行っています。6月から交渉を進めてきましたが、なかなか日程を確定できないなどの海外ならではの問題もありましたが、喜々と泳ぐ子どもたちの姿を見ることができほっとしています。
- ◆前半2回を終了しましたが、子どもたちは皆、それぞれのめあてに向かって時間を忘れて泳いでいます。子どもたちも水泳教室を待ち望んでいたのでしょうか。プールに響き渡る歓声が、そのことを物語っています。
- ◆子どもたちの体力向上は、運動の場や機会の確保が容易ではない日本人学校に共通の大きな課題です。モス日の子どもたちが進んで運動に取り組めるよう、限られた場や機会を工夫しながら「健康づくりに進んで取り組む子ども」を育てていきたいと思ひます。



避難訓練を実施します

■すでに本便りでもお知らせしておりますとおり、「情報伝達訓練（9月17日）」と「避難訓練（9月20日）」を実施します。今回の避難訓練は、日本人学校校舎内に不審物が置かれたという想定で、「大使館の指示に基づき、近隣の緊急避難場所へ迅速に避難し、避難場所から下校させる」という訓練です。

○緊急避難場所：118番校（日本人学校グラウンドの脇）

○日程：13：00～13：25 昼食

13：30～13：45 帰りの会

13：45 緊急放送、緊急避難

14：15 緊急下校の連絡（担任の携帯電話から学級連絡網で連絡）

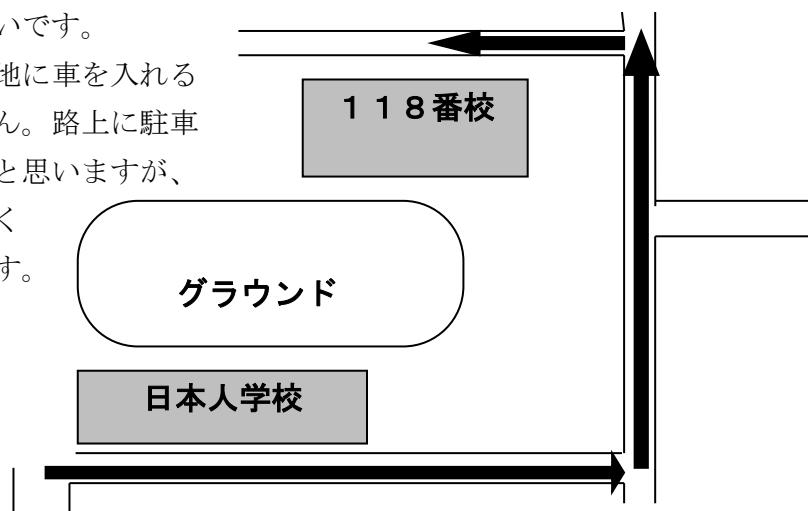
118番校でバス下校の人員確認

14：30 下校バス発車、自主下校引き渡し開始

■スクールバスの下校訓練も兼ねていますので、下校バスに教職員が同乗し、確認しながら降車させることにしています。確認できない場合は再度避難場所に戻ることにしますので、ご配慮をお願いいたします。また、安全が確認できない限り学校には戻らないことを想定していますので、保護者の皆様がお出でになるまで緊急避難場所で待つことになります。速やかな引き渡しにご協力いただければ幸いです。

■こういった緊急事態への対応は、日本人学校共通の課題です。あってはいけないことですが、これも現実です。いざという時に備えた訓練は欠かせません。ご家庭でも話題にいただければ幸いです。

■118番校の敷地に車を入れることはできません。路上に駐車することになると思いますが、ご協力をよろしくお願いいたします。



お知らせ

■10月12日（土）に計画している学習発表会の会場等についてお知らせします。会場は昨年と同じ会場です。学校から離れていますが、学習発表会場としては申し分のない会場です。

■当日、子どもたちはスクールバス又は保護者同伴で会場に行く（登校する）こととなりますが、登下校方法について予めご検討いただければ幸いです。後日、詳しい案内を差し上げます。

○会場：Borodino Hall (Borodino Hotel 付属のホール)

○アクセス：地下鉄ソコーリ駅（1号線）から徒歩5分

○収容人数：最大550人